

平成 28 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 日本精密株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡林 博
(JASDAQ コード番号：7771)
問合せ先 上席執行役員 朴 成鎮
(電話番号 048-225-5311)

ASEANプロジェクトの2018年3月期利益計画の修正に関するお知らせ

平成 25 年 11 月 21 日付「ASEANプロジェクト並びに2018年3月期利益計画の策定に関するお知らせ」で開示しております通り、当社では5カ年計画からなるASEANプロジェクトを現在推進しております。計画の中間期となる3期目の2016年3月期を終了し、このたび2018年3月期の利益計画について、直近の業績状況を鑑みて見直しを行いましたのでお知らせいたします。なお、ASEANプロジェクト自体は順調に進行しており、プロジェクトにおける実施内容・戦略につきましての変更はございません。

記

1. 利益計画の修正の理由

1978年の創業以来、腕時計関連部品をメインにメガネフレーム等の精密部品加工業として業務拡大してまいりました当社は、さらなる成長と飛躍を目指して『ASEANプロジェクト』を策定いたしました。また、それに併せて2018年3月期の利益計画も策定し、平成25年11月21日付「ASEANプロジェクト並びに2018年3月期利益計画の策定に関するお知らせ」にて開示させていただきました。

ASEANプロジェクトにおきましては、それまで時計関連部品の製造の中心地であった中国の変化を予測し、また単に生産能力の増強を図るのみではなく、同地域の成長力も当社グループに取り込むため、さらなる戦略性も付加したものとなっております。しかしながら、中国内における時計関連部品メーカーの撤退や廃業が予想以上に加速し部品供給サイドがタイトな状況となる一方で、当社顧客である大手国内腕時計メーカーの中価格～高価格帯の製品の販売が好調に推移し部品需要が拡大するなど、市場の変化が当社の予想を上回るスピードで進みました。そのため当社では、顧客からの発注量の増加に対応するため、平成26年11月並びに平成27年8月に第三者割当増資を実施し、調達資金を用いて設備投資計画を前倒し実施いたしました。

結果、現在ASEANプロジェクトは順調に進行し、業績は順調に推移しております。時計関連部品が順調に推移していることに加え、計画策定時の想定為替レートが1ドル95～100円程度であったのに対し近年の為替レートがそれを上回る水準で推移しているため、ドル建て売上の円換算時の金額も増加しております。そのため、本日開示いたしました「平成28年3月期決算短信」内の平成29年3月期業績予想にて記載いたしましたように、連結売上高につきましては平成30年3月期（2018年3月期）に計画しておりました100億円を1期前倒して達成する見込みとなっております。

以上のことから、このたび利益計画の数値見直しを実施し開示するものであります。

2. 利益計画の修正の内容

①連結売上高につきましては、「1. 利益計画の修正の理由」にて記載いたしました要因により、平成30年3月期の計画を114億円に増額修正いたします。

②営業利益および経常利益につきましては、為替変動の影響により売上高が増加する一方で、以下の要因により営業費用が増加したことから当初計画を見直すことといたしました。

《売上原価、原価率の増加に関する主な要因》

- ・ベトナムおよびカンボジア工場の円換算時の労務費の増加
- ・ベトナムにおける労働賃金の想定以上の上昇等による労務費の増加
- ・連結子会社である株式会社村井の為替変動の影響による海外からの商品仕入価格の上昇

《販売費および一般管理費、販管費比率の増加に関する主な要因》

- ・株式会社村井の為替変動の影響による外貨建てロイヤルティ支払い額の増加
- ・株式会社村井の売上増加率の鈍化による販管費比率の上昇
- ・技術の継承と世代交代に向けた新規採用者の増加

③親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益の減額と税制改正による法人税負担額が増加する一方、本日付「特別利益の計上に関するお知らせ」並びに平成28年4月14日付「新規国内時計製造会社との長期安定製品供給に関する合意書の締結に関するお知らせ」で開示いたしました通り、カンボジア新工場の竣工・稼働開始後に長期安定製品供給の合意に基づく国内時計製造会社からの生産準備金を平成30年3月期に受領する見込みであります。工場完成同時と第1回目の出荷した時期により影響を受けるため下記の計画には織り込んでおりません。

3. 平成30年3月期（2018年3月期）計画

修正計画

(参考：初期計画)

(単位：百万円)	平成28年3月期 (実績)	平成29年3月期 計画	平成30年3月期 計画	平成30年3月期 計画
連結売上高	9,335	10,200	11,400	10,000
時計関連売上高	6,990	7,650	8,600	6,760
メガネフレーム売上高	1,951	1,950	2,150	2,650
その他売上高	393	590	650	590
連結営業利益	281	303	471 + α	800 + α
連結経常利益	97	231	335 + α	700 + α
親会社株主に帰属する 当期純利益	49	351	220 + α	600 + α

EPS	2.75円	19.19円	12円以上	34円
営業利益率 (%)	3.0%	3.0%	4.1%以上	8%以上

※参考として表示しております修正前計画の連結売上高のセグメント別内訳につきましては、初期計画の策定以後に何回かの見直しを行っており、表示数値は直近の決算説明資料に記載したものととなります。

※上記計画は、経済情勢や為替変動の影響等により変更される可能性があります。再度の修正が必要となった場合、改めて修正計画をお知らせいたします。

以上